

海峡に育まれた下関の歴史と文化

- 海峡の歴史に未来が見える -

下関市立歴史博物館 開館

11月18日(午後1時)いよいよ歴史博物館が開館します。
この博物館は、旧長府博物館の活動を継承発展するとともに、歴史豊かな下関の歴史博物館として、市民の地域学習や交流人口拡大のために建設しました。

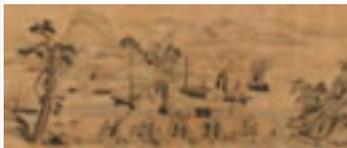


企画展「時代を拓く海峡 - 攘夷戦・下関戦争・四境戦争 -

幕末の海峡において繰り広げられた攘夷戦・下関戦争・四境戦争をさまざまな資料に沿って紹介します。

期11月18日～12月25日

料一般100円、大学生等50円



△藤島常興筆 馬関戦争図

2日間限定！夜間開館

11月19・20日の2日間は、キャンドルナイト「彩りの城下町長府・秋」の開催にあわせ、午後9時(入館は午後8時30分)まで夜間開館します。



※午後5時30分以降は駐車場を利用できません

近世・幕末維新を中心に下関の歴史を概観します

幕末維新

- ◆攘夷戦争
攘夷か開国か、攘夷決行、下関戦争
- ◆長州再起への道
七卿落ちと下関、第一次長州征討と薩長盟約、激突！小倉戦争、長州の復権と戊辰戦争
- ◆幕末英志たちの一大拠点
下関に集う志高き人々、中山忠光と下関、高杉晋作と下関、坂本龍馬と中岡慎太郎



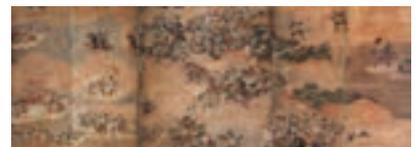
△坂本龍馬愛用の飯碗と湯呑

近代

- ◆廃藩置県から市制施行
 - ◆日清・日露戦争と下関要塞
- #### エピソード
- ◆鉄道の開通と関釜連絡船
 - ◆関門鉄道トンネルの開通と終戦

古代～中世

- ◆国府施設と山陽道駅館
- ◆長門鑄銭司と和同開珎
- ◆壇ノ浦の合戦と武家政治の展開
- ◆南北朝の内乱と守護たちの争覇



△源平合戦図屏風

中世～近世

- ◆戦国大名の時代
- ◆東アジアとの通交
- ◆躍動する人々

近世

- ◆毛利秀元と長府藩
秀元の文武、歴代藩主と藩政の展開、城下町長府の形成、清末藩と萩藩
- ◆海陸交通と交易
海道と海運、街道と海峡、港町赤間関の発展と商人、伊崎新地の開発と越荷方



ガイドンス交流室

下関の歴史と文化の概要、市域の文化財、文化施設、観光に関する情報を提供する無料の展示空間。海峡の文化財を紹介したパノラマ映像や長府のまち歩き映像、地域史関係図書などを用意しています。

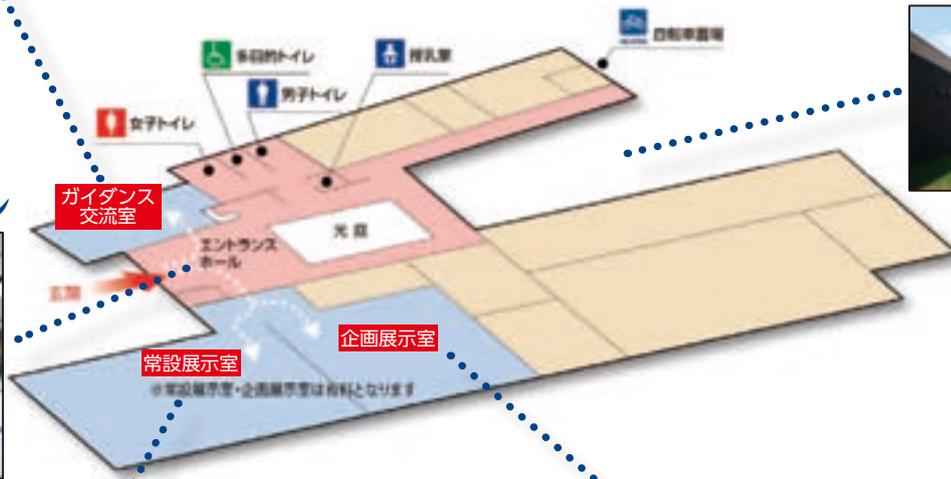


情報検索コーナー

歴史博物館が所蔵する博物館資料、市内各施設や史跡などの情報を画像と併わせて簡単に検索することができます。



エントランスホール



芝生広場

常設展示室

常設展示のテーマは「海峡に育まれた下関の歴史と文化 - 海峡の歴史に未来が見える」です。海峡は海陸交通と文化の十字路であり、新たな文化と次代を創出しました。そのため海峡で起きたさまざまな出来事などを積極的に取り上げています。皆さんが海峡の歴史に学び、明日の下関を考えることができるよう構成しています。



企画展示室

さまざまな歴史的事象や人物などに焦点をあてた企画展示や特別展示を開催します。



利用案内



下関市立歴史博物館
〒750-0801 下関市立歴史博物館(☎241-1080)

- 開館時間=午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日=月曜日(祝日を除く)、年末年始
- 観覧料
【常設展示】一般200円(160円)、大学生等100円(80円)
【企画展示】一般100円(80円)、大学生等50円(40円)
※()内は20人以上の団体料金
- 駐車料金=最初の2時間まで1時間ごとに100円
※2時間以降、30分ごとに100円
- 駐車台数=一般用26台、身障者用2台

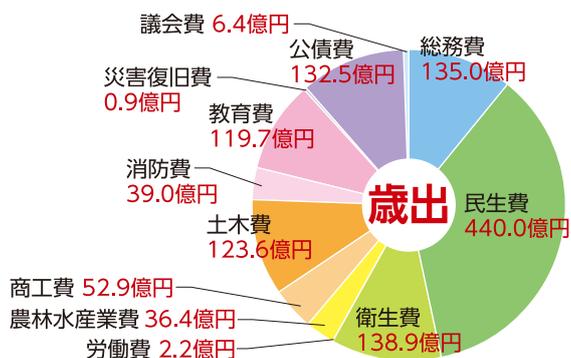


歴史博物館未公認キャラクターなカール先生

「新たなまちづくり元年」の決算

平成27年度 歳入 1,257億 916万 972円
 一般会計決算 歳出 1,227億5,384万6,308円

財政局課 (☎231-1160)



名称	H26年度	H27年度	割合
食費・教育費・公共料金・生活用品費など(人件費・物件費)	12万5千円	12万7千円	28%
医療費(扶助費)★1	9万8千円	9万9千円	22%
ローン返済(公債費)	5万円	4万9千円	11%
子への仕送り(繰出金)★2	5万4千円	5万5千円	12%
交際費など(補助費等)	4万5千円	4万6千円	10%
家の修繕・改築など(投資的経費)★3	6万3千円	7万2千円	16%
預金(積立金)	4千円	4千円	1%
合計	43万9千円	45万2千円	100%

- ★1…医療費(扶助費)が増えた理由は、社会保障関係費が増えたことが大きな要因です。これは、年々増加傾向にあります。
- ★2…子への仕送り(繰出金)が増えた要因は、国民健康保険、介護保険などの特別会計に対する繰出金が増加したためです。
- ★3…家の修繕・改築など(投資的経費)が大きく増加した要因は、新ごみ焼却施設、市役所本庁舎、歴史博物館、教育センターの整備が進んだためです。

下関市の預金

名称	H26年度	H27年度
預金残高(基金残高)	233億4,675万5千円	218億2,114万6千円
住民一人当たり換算	8万5千円	8万1千円

平成27年度の一般会計歳入歳出決算を家計に例えて見ましよう。

実際の決算額を平成28年3月31日現在の住民基本台帳人口(27万1020人)で割ったものです。住民一人あたりの収支としても見ることができ、ひと月あたりの収支としてもイメージできます。



主な取り組み



農林水産

新規就農者を受け入れた集落営農法人などの法人に対する定着支援給付金の支給、独立・自営就農希望者への青年就農給付金の支給を行うなど、新規就農者の確保・育成に取り組みました。



産業振興

結婚や出産などの事情で離職している女性求職者を対象として、職場体験やマッチングイベントを実施するなど、きめ細やかな雇用対策・就業支援を行いました。



庁舎整備

市役所本庁舎に来庁する方の駐車場需要に対応するため、立体駐車場を新設しました。豊田総合支所は建て替えを終え、供用を開始しました。



まちづくり

住民が地域の活動に主体的に関わり、地域活性化に取り組む「住民自治によるまちづくり」を積極的に推進するため、地域サポート職員制度、まちづくり協議会設立・運営・活動補助金制度を構築し、「まちづくり協議会」の設立などに対する人的支援、財政支援を行うとともに、住民自治によるまちづくりシンポジウムを開催しました。

教育



教育の中心施設として、教育委員会事務局と教職員の研修・研究機能、教育相談機能を併せ持つ教育センターを整備しました。

学校運営に地域の声を取り入れながら、みんなで子どもの教育環境を整えていくため、全ての小・中学校にコミュニティ・スクールのコーディネーターを配置しました。

観光振興



道の駅「北浦街道 豊北」

新鮮な魚介類を提供するための水槽

道の駅「北浦街道 豊北」において、新鮮な魚介類の安定供給、観光バスの増に対応するため、活魚水槽と休憩所棟を整備しました。

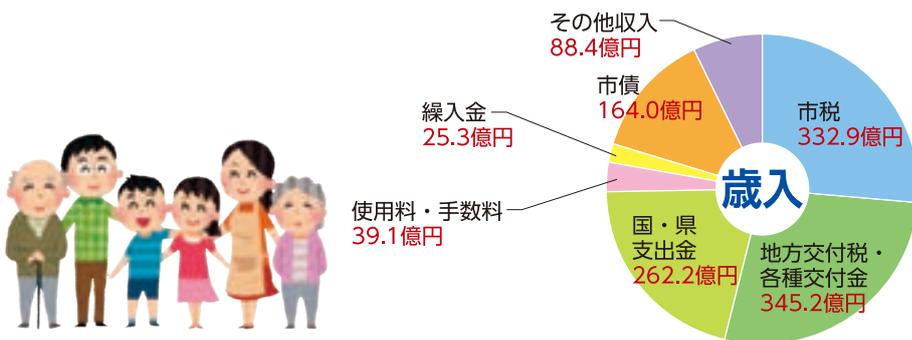
環境



奥山工場の新ごみ焼却施設が完成しました。高効率ごみ発電により、さらなる循環型社会の形成を図ります。また、旧焼却施設の解体跡地を利用した再資源化物を一時保管する施設(ストックヤード)を整備するため、各種調査を行いました。

平成27年度は、「新たなまちづくり元年」として、第2次下関市総合計画の重点取り組み方針である「都市の魅力向上」と「暮らしやすさ向上」に沿った諸施策を、着実に実行しました。

一般会計の歳入歳出差引決算額(形式収支)は29億5531万円でした。このうち翌年度へ繰り越すべき財源は1億8812万円、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は27億6719万円の黒字となりました。地方公共団体の一般財源の標準規模に対する実質収支額の割合(実質収支比率)は4・1%であり、これは、おおむね望ましいとされています。



収入

名称	H26年度	H27年度	割合
給料(基本給)(市税)★4	12万4千円	12万3千円	26%
給料(諸手当)(各種交付金・地方交付税)	12万2千円	12万7千円	27%
パート収入(分担金・負担金・使用料・手数料)	1万9千円	1万8千円	4%
親からの援助(国県支出金)★5	9万2千円	9万7千円	21%
ローンの借入(市債)★6	4万8千円	6万円	13%
預金引出(繰入金)★7	1万3千円	9千円	2%
不動産収入・利子(財産収入・諸収入など)	1万9千円	1万7千円	4%
前月の残り(繰越金)	1万3千円	1万2千円	3%
合計	45万円	46万3千円	100%

- ★4…給料(諸手当)が増えた理由は、地方消費税交付金が増えたことが大きな要因です。
- ★5…親からの援助が増えた理由は、廃棄物処理施設整備交付金、施設型給付費負担金、地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金の増加などが大きな要因です。
- ★6…ローンの借入が増えた理由は、新ごみ焼却施設、市役所本庁舎、歴史博物館、教育センターの整備などが大きな要因です。
- ★7…預金引出が減った理由は、基金の取り崩しが減ったことが要因です。

下関市の借金

名称	H26年度	H27年度
借入金現債高	1,311億3,753万4千円	1,356億1,542万6千円
住民一人あたりに換算	47万9千円	50万円

保健・福祉



地域包括支援センターを12カ所に増設し、地域の高齢者に対する支援体制を充実しました。

子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、放課後児童クラブの対象児童の拡大、開所時間延長や市独自の保育料軽減対策を行いました。

妊娠・子育てサポートセンターに母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を開始し、サポート体制を強化しました。